

【JAF長野】正しく取付けできていたのは僅か11.9%、 正しい着座ができていたのは22.6%

“チャイルドシートチェックアップ・イベント”を開催しました。

JAF（一般社団法人 日本自動車連盟）長野支部（支部長 宇都宮進一）は、2015年5月9日（土）10:00～16:00 トイザラス・ベビーザラス松本店駐車場にて無料取付け点検会“チャイルドシートチェックアップ・イベント”を開催し、車両64台、チャイルドシート74台に参加いただきました。（共催/同会場・各チャイルドシートメーカー、協力/長野県警察・長野県 他）

当イベントは、チャイルドシートを正しく適切に使用していただくことを目的に、無料で取付けと着座状態の確認やアドバイスを行うもので、同会場での開催は今年で連続7回目となりました。



当日受付で記入いただいたアンケート結果では、「取付け・使用状態に不安がある」と答えた方が75.7%（前年比+7.1%）でしたが、調査結果は「しっかり取付け」できていたのが僅か11.9%（前年比-8.1%）、「正しい着座」ができていたのが22.6%（前年比-17.1%）と約90%が正しい取付けができていませんでした。「正しく取付け・使用できている」と思っているも“ベルトの締め付けが足りない”

“ベルトの通し位置が間違っている”等の誤使用が多く見受けられました。

また、同時開催の大人も子どもも楽しめる“イベントブース”では、「子ども安全免許証」の発行（125枚）、時速5kmの衝撃「シートベルトコンビンサー」の体験（114人）、長野県警察による視機能診断装置「チャレンジ号」の体験（46人）、「自転車シミュレーター」の体験（49人）、警察車両（白バイ・パトカー）の展示を行い、非常に多くの方にご来場・体験いただきました。天気が崩れる予報でしたが何とか持ち

こたえ、今年も大盛況で終了することができました。

次回は、J A F長野支部（長野市高田675-2）にて7月7日（火）と7月17日（金）の2日間開催いたします。

